

健康増進！社内で手技療法のケアサービス

社内で鍼灸ケア

エネジン、従業員向けに



鍼灸師に体をほぐしてもらった社員＝浜松市中央区で

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は、従業員の健康増進の取り組みとして鍼灸師によるケアサービスを社内で始めた。同社は昨年禁煙講座の開催や体を動かす部活動の新設など健康経営の取り組みを強化しており、現場の生産性向上や採用活動のアピールにつなげる。

県西部で訪問型の鍼灸治療を手がけている飯田康祐さんが定期的に同社を訪れ、利用者の要望に応じてストレッチや手技療法、自宅でもできるセルフケア指導などを行う。パソコンを

使う作業が多いという女性社員は肩こりをほぐしてもらい、「体が軽くなりました」と喜んでいました。

エネジンは昨年、禁煙を旨とする社員への補助金制度を導入し、杏林堂薬局（中区）の協力による禁煙講座も開始。今年からは経験者の社員が講師を務めるヨガ部を設立するなど社員の健康増進に注力している。

安藤章雄取締役常務執行役員は「ワークライフバランスの取り組みは学生の関心が高い。発信して採用にもつなげたい」と話している。（中平雄大）

エネジンの健康経営の取り組みが、中日新聞に掲載されました。

エネジンでは、健康経営の取り組みの一環として、飯田康祐鍼灸師に訪問していただき社員の要望に応じてストレッチや手技療法、自宅でもできるセルフケア方法などの指導を行ってまいります。座りっぱなしでパソコン業務が多い女性事務員は、肩や腕のコリがひどく、ほぐしてもらうことで「体が軽くなった！」と喜んでます。

飯田鍼灸師には、手軽に取り入れられるストレッチ方法をエネジンのブログ『エネフィブログ』でも紹介していただいております。ぜひ一度チェックしてみてください。

令和5年(2023年)7月5日(水) 中日新聞

